本社ガスビルサービスセンター・支店所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3丁目2番95号	☎大 阪06 (586)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎ 堺 0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39－6	☎高 槻0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河 内0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1丁目3番2号	☎神 戸078(360)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1番地	☎京 都075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路0792(35)2221
尼崎支社	〒660	尼崎市三坂町6丁目57番地	☎尼 崎0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5－34	☎草 津0775(32)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦 根0749(22)3131
(長浜営業センター)	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長 浜0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大 阪06 (202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスショップにご連絡ください。

734T0465ZD

ガスふろ給湯器

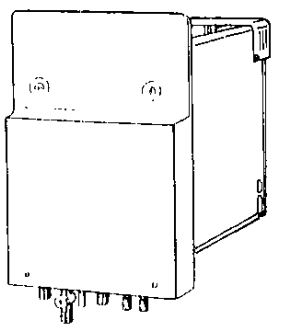
パックイン

外壁貫通設置型

31-768型

型式名　WF－802AT

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があれはお買い求めの販売店にお問い合せください。

大阪ガス

必ずお守りください　各部の名まえと扱いかた　使用方法　凍結予防法　点検・お手入れ　故障かな？と思ったら

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのパックインを
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

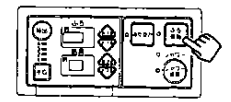
もくじ

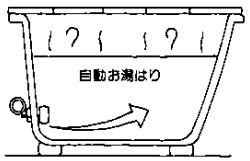
- 特長・機能の紹介……1
- 必ずお守りください……2～4
- 各部の名まえと扱いかた……5～8
- 初めてお使いいただくときに……9
- 使用方法
  - お湯をお使いのときは……10～13
  - おふろを沸かすときは……14～19
  - 呼出スイッチの使いかた……19
- 凍結予防方法……20～21
- 点検・お手入れ……22～23
- 故障かな？と思ったら……24～26
- 寸　法　図……27
- 仕　　様……28
- 保管とアフターサービス……29

特長・機能の紹介

1 スイッチポンで おふろが沸かせます。

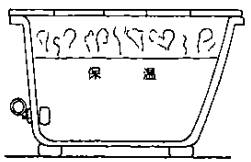
ふたをして ふろ自動 スイッチを押せば
あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯
量でお湯はりができます。

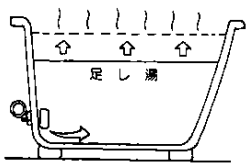




2 湯温と湯量のみはりは 機器におまかせ

ふろ自動 スイッチを押しておけば、約
4時間以内ならお湯がさめれば自動で保温、
お湯が減れば自動で足し湯します。





必ずお守りください

■ 器具を安全に正しくお使いいただくために

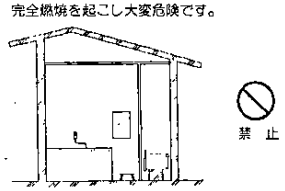
この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意　味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

⚠ 危険

■ 機器の設置

●この機器は、屋外用（外壁貫通タイプ）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。

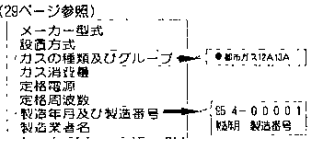


■ 使用ガスの種類の確認

●ガスの種類を確かめてください。
機器本体（銘板）に表示してあるガスの種類以外では使用しないでください。
★故障や燃焼不良、過熱の原因となります。

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあります。

●転居される場合は、地域によりガスの種類が異なりますので、転居先のガスの種類を確認の上、機器銘板と異なる場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
（29ページ参照）

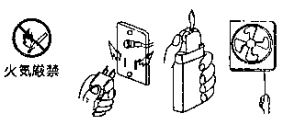


⚠ 警告

■ ガス事故防止について

●ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガス元栓を閉めてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●お買い求めの販売店や大阪ガス支社の係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器の「入」「切」をしないでください。
★ガス爆発の恐れがあります。

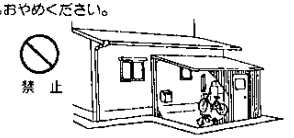


■ 設置場所について

●機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。

●この機器は壁貫通タイプの屋外設置型器具ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板などによって、囲いをすることもおやめください。



絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
⚠	一般的な注意事項	⃠	一般的な禁止事項	❗	必ず行なう事項
⚠	感電注意	⃠	分解禁止	⏚	アース接続確認
⚠	高温注意	⃠	火気厳禁	🔌	電源プラグを抜く
⚠	発火注意	⃠	接触禁止	★	現象を表します

⚠ 警告

■ 使用電源の確認

●ＡＣ１００Ｖ（５０／６０Ｈｚ）以外の電源では使用しないでください。

■ シャワー使用時のご注意

●シャワーの使いはじめには、いきなり体や頭にかけずに手で湯温を確認してから使用するようにしてください。使いはじめに熱いお湯がでることがあります。シャワー、上がり湯をご使用になって湯を止めた直後やあたたか運転の終了直後にシャワーをお使いになる場合にもそのつど確認してください。小さいお子様が１人で使用する場合は、特に注意させてください。
★やけどの恐れがあります。

■ 子供に注意

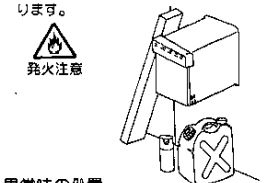
●浴そうの循環口の付近で水に潜ったりしないでください。
★思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

■ 火災予防

●排気口の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

●機器の周辺ではガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを使用しないでください。
★火災の原因になる恐れがあります。

●機器の周辺にスプレー缶を置かないでください。
★熱でスプレー缶の圧力が上がり破裂する恐れがあります。



■ 異常時の処置

●ご使用中に普段と違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。24~26ページの「故障かな？と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

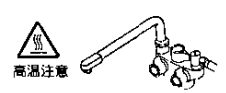
⚠ 注意

■ 用途についてのご注意

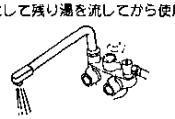
●この機器は、給湯・シャワー・追いだき以外の用途には使用しないでください。
★思わぬ故障の原因になります。

■ シャワーセット使用時のご注意

●高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
★やけどの恐れがあります。



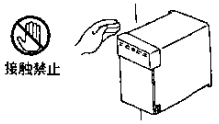
●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため湯調つまみで湯量をおおめにして残り湯を流してから使用してください。



必ずお守りください

⚠注意

■ やけどのご注意
- 使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



■ 運転停止(消火)時のご注意
- 燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。
  ★機器の故障の恐れがあります。

■ 入浴時のご注意
- 追いだき中や追いだき後は、浴そうのお湯の温度が上部と下部で差があることがありますので入浴時は注意してください。

■ 追いだき運転時の注意
- 追いだき運転をする場合は浴そうの水位が循環口より上にあることを確認してください。

お願い

■ ガス事故防止
- 機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■ 業務用としての使用禁止
- この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

■ 積雪時の注意
- 積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

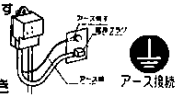
■ 入浴時のご注意
- 浴そう内の循環口をタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、ふろの沸かし上げができません。また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因になることがあります。
- 沸かし上げのときは、周囲のお湯よりあついお湯がでますので、循環口の下の吐出口に手や体を近づけないようにしてください。

- 浴室リモコンは、防水タイプになっていますが入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については22ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。また、リモコンは分解しないでください。

■ 入浴剤や洗剤の使用について
- 硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

■ 飲用についてのご注意
- しばらく使わなかったとき、はじめにでてくる水は飲んだり調理に用いないでください。

■ 電気事故防止
- 電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。
  ★プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- アース線をアース端子に取付けてください。
  ★感電する恐れがあります。



■ 雷が発生しているとき
- 雷が発生しているときは、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。
  ★機器の故障の恐れがあります。

■ 長期間使用しない場合
- 長期間使用しない場合は、万一のガス漏れを防止するため、29ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

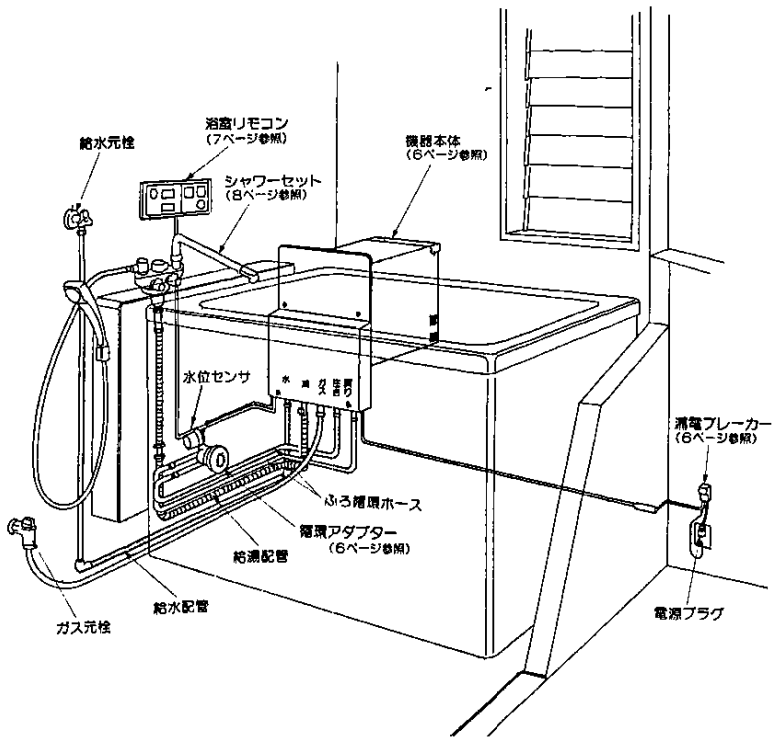
■ 停電のとき
- この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、9～19ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

■ 機器内部の凍結予防について
- 機器内部の凍結予防は、20～21ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。
  ★凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■ 市販の補助用具使用について
- この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。
  ★機器の異常の原因になることがあります。

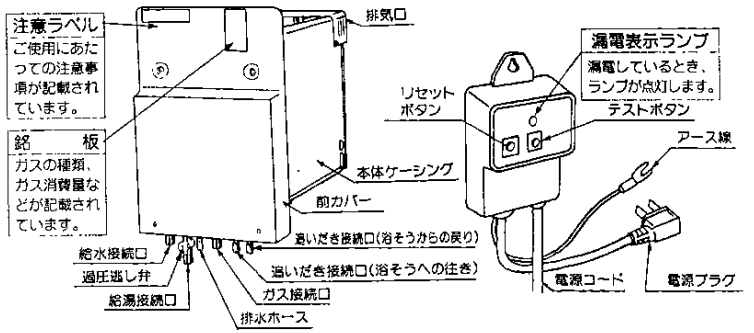
各部の名まえと扱いかた

■ 標準設置例



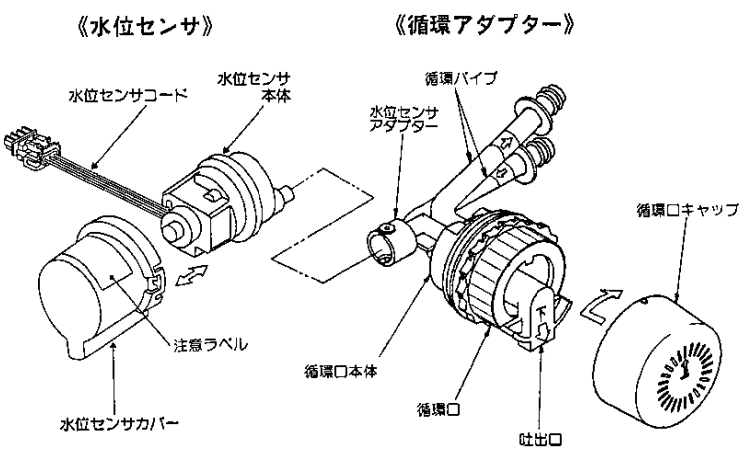
※本図は、浴室のみの配管設置例です。
浴室外へ給湯配管をすれば台所・洗面所等でもお湯が使用できます。別売部品の台所リモコン(8ページ参照)もあります。

■ 本　体

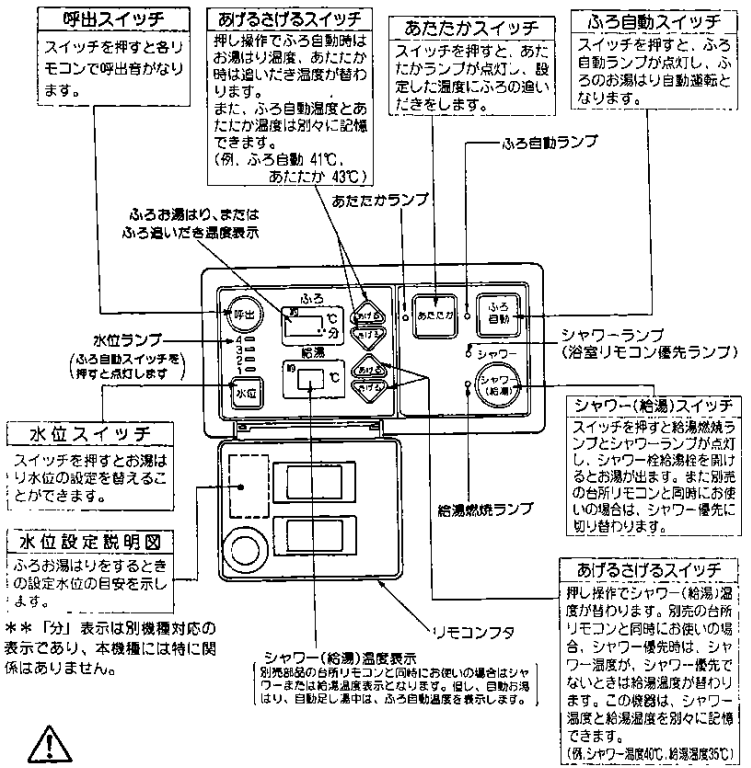


■漏電ブレーカー

■循環アダプター

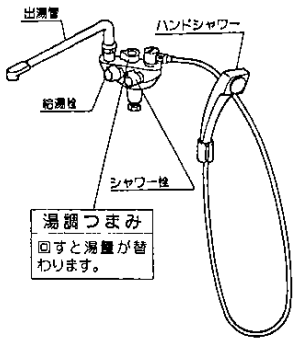


■ 浴室リモコン

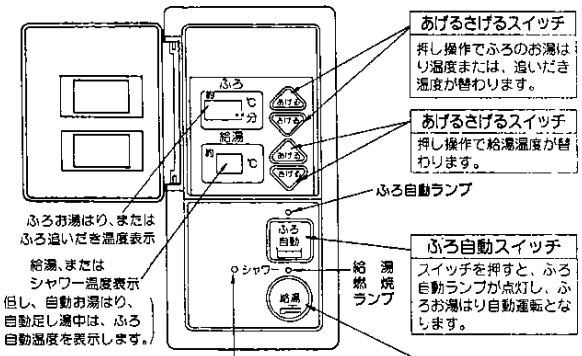


- (呼出) スイッチは、別売部品の台所リモコンを台所等で使用する場合、浴室からの呼び出しに使用します。(19ページ参照)
- 水位 スイッチを3秒以上押し続けるとエラーコードが表示されます。これは故障履歴の表示状態であり異常ではありません。スイッチを押してから10秒経過すると表示は消灯します。
- スイッチを押すと、音(ピッ)がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけられないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。

■ シャワーセット（別売部品 36-740, 36-741）



■ 台所リモコン（別売部品 36-795）



㊟スイッチを押すと音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受け付けられないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。

**「分」表示については 7ページを参照

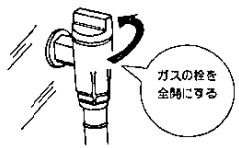
初めてお使いいただくときに

（使用前の確認）

1 給水元栓をいっぱいに開けます。

2 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。

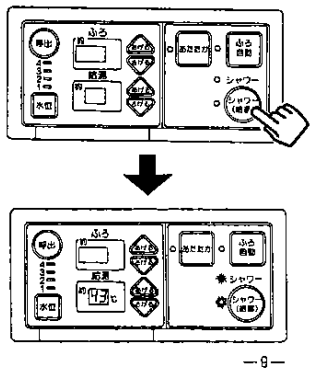
3 ガス栓を開けます。



4 電源プラグ(漏電ブレーカー付)を根元まで確実にコンセントに差し込みます。

（給湯の準備）

浴室リモコンの（シャワー(給湯)）スイッチを押します。



● 「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に、「シャワーランプ」が「赤色」に点灯し、給湯温度表示部に温度表示が出ます。

※別売部品の台所リモコンを同時に使用する場合、台所リモコン側にも給湯温度が表示されます。

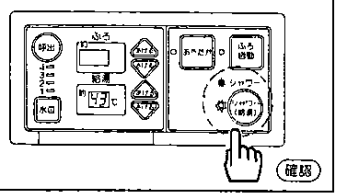
電源プラグ差込み後または停電復帰後に（シャワー(給湯)）スイッチを押すと給湯温度表示部に初期設定温度として43℃が表示されます。

本取説では、ランプの表示を下記のように表わします。

○ 消灯　◎ 緑点灯　● 赤点灯

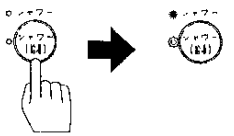
使用方法

1 「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に点灯しているか確認します。

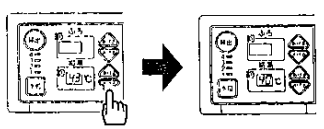


- 「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に点灯している場合は、動作2から操作してください。
- 「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に点灯していない場合は、シャワー(給湯)スイッチを押します。
- 「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に点灯します。
- 「シャワーランプ」が同時に「赤色」に点灯します。

※別売部品の台所リモコンを同時にお使いの場合、「給湯燃焼ランプ」が「緑色」で「シャワーランプ」が消灯している時は、シャワー(給湯)スイッチを押すと「シャワーランプ」が「赤色」に点灯しシャワー優先に切り替わります。台所リモコン側も「給湯燃焼ランプ」は「緑色」に、「シャワーランプ」は「赤色」に点灯します。



2 スイッチでお好みのシャワーまたは給湯温度に設定します。



- 給湯温度の表示は目安ですが、35~50℃、60℃の17段階に設定できます。
- スイッチは1回押すたびに、1段階ずつ調節できますが、押しつづけると50℃までは速く動きます。

温度表示	通常1℃ずつ	熱湯
	約35℃、36、……	約60℃
43℃	……48、49、50	

シャワー優先とは…

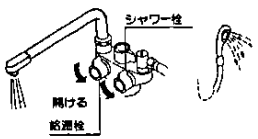
(シャワーを安心してお使いいただくために)

- 別売部品の台所リモコンを同時にお使いの場合、シャワーランプ点灯時は、台所リモコン側では、給湯温度が変えられなくなっています。
- 浴室でシャワーまたは給湯を使用している間は、浴室リモコンの「給湯燃焼ランプ」が「赤色」に点灯すると共に「シャワーランプ」も「赤色」に点灯します。
  このとき、別売部品の台所リモコンを台所・洗面所等で合わせて使用している場合は、台所リモコンの「シャワーランプ」も「赤色」に点灯し、浴室でシャワーまたは給湯を使用していることをお知らせします。

⚠

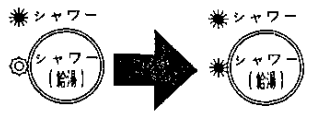
- 表示している温度と給湯温度は、配管長さや外気温等により必ずしも一致しません。
  目安としてお使いください。

3 シャワー栓または給湯栓を開けます。



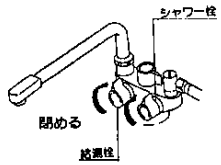
- 「給湯燃焼ランプ」が「緑色」から「赤色」に替わります。
- しばらくしてお湯が出ます。
  (お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)

※別売部品の台所リモコンを同時に使用の場合は、台所リモコン側の「給湯燃焼ランプ」も「赤色」に替わります。



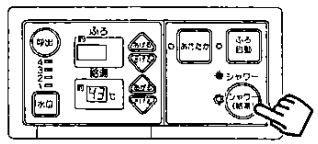
(シャワー・給湯停止)

1 シャワー栓または給湯栓を閉めます。



- お湯が止まり、「給湯燃焼ランプ」が「赤色」から「緑色」に替わります。
- 「シャワーランプ」は「赤色」のまま点灯しています。

2 もう一度 シャワー(給湯) スイッチを押します。

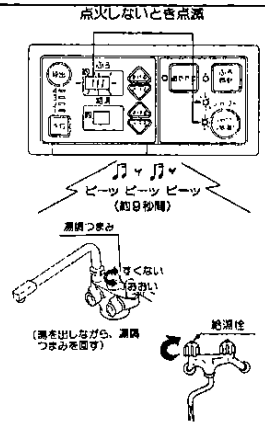


●浴室リモコンの「給湯燃焼ランプ」及び「シャワーランプ」が消えます。
●別売部品の台所リモコンと合わせて使用している場合、台所リモコンの「給湯」スイッチを押しても解除できます。

⚠
●解除後再び（シャワー(給湯)）スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、解除前の設定温度が35～50℃のときはそのまま同じ温度が表示されますが、解除前の設定温度が60℃であったときは43℃に戻ります。

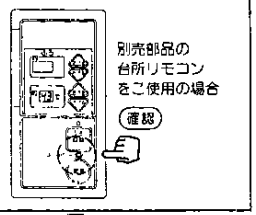
⚠（シャワーおよび給湯使用時）

●給湯配管内の水が出てしまうまですぐにはお湯が出ません。
●はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
このときはお湯が出ず、浴室リモコンの「給湯燃焼ランプ」およびふろ温度表示部が［11］で点滅します。また、台所リモコンの「給湯燃焼ランプ」とふろ温度表示部も同様に点滅します。このような場合は、給湯栓又はシャワー栓を閉じ、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。
●給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約2.5ℓ／分以下）と熱いお湯が出たり、消火することがあります。
●給湯温度を高温にセットしていても湯温が低い場合は湯量を少なくします。
専用シャワーセットの場合は、湯を出しながら、湯調つまみを回して調節します。
台所や洗面所でご使用の場合は給湯栓を回して調節します。しばらくして熱くなります。

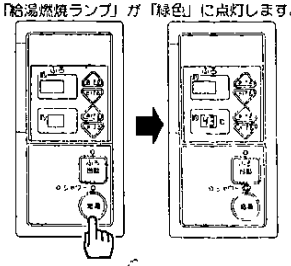


●給湯温度を60℃設定で使用したあとに給湯運転を解除し（シャワー(給湯) スイッチを押して「給湯燃焼ランプ」及び「シャワーランプ」を消す）、再びシャワーまたは給湯を使用するとき（再びシャワー（給湯）スイッチを押す）には、給湯温度は43℃に戻ります。
●給湯栓で湯量を絞っていくと、水の中の空気が分離して気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので心配はありません。
●2ヶ所で同時使用されますと、ぬるくなったり湯量が少なくなることがあります。
特に、シャワー使用中は同時使用を避けてください。
●夏期水温が30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出してください。

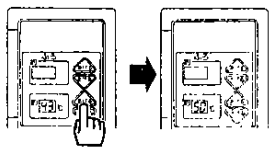
1 台所リモコンの「給湯燃焼ランプ」が点灯していることを確かめます。



●「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に点灯している場合は、動作 3 から操作してください。
●「給湯燃焼ランプ」が点灯していない場合は、「給湯」スイッチを押します。
●「給湯燃焼ランプ」が「緑色」に点灯します。



2 スイッチでお好みの給湯温度に設定します。



●浴室リモコンでも スイッチを押せば温度設定はできます。

⚠
●シャワーランプが点灯している場合は台所リモコンでの給湯温度変更はできません（シャワー優先）。この場合、浴室で使用している温度のお湯が出ます。シャワー優先を解除するには、一旦（給湯）スイッチを押し、給湯を切ったあと、再度（給湯）スイッチを押してください。

3 台所、または洗面所の給湯栓を開けます。

●「給湯燃焼ランプ」が「緑色」から「赤色」になります。
●しばらくしてお湯が出ます。

4 使用後、給湯栓を閉めます。

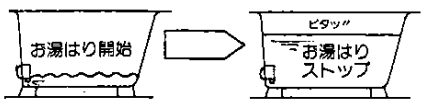
●お湯が止まると「給湯燃焼ランプ」が「赤色」から「緑色」に替わります。

「給湯」スイッチをそのまま「入」にしていても大丈夫です。

●通常「入」のままで「切」にする必要はありません。次回お使いのとき（湯温が同じで良い場合）そのまま給湯栓の開閉のみの操作で出湯できて便利です。
※給湯を解除したい場合、「給湯」スイッチを再度押します。また、浴室リモコンからも給湯運転の解除が可能です。この場合は、「シャワー(給湯)」スイッチを2度押してください。（1度押すと、シャワー優先状態（10ページ参照）となります。）

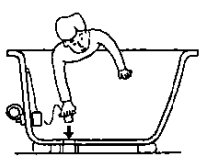
ふろ自動とは…

ふろ自動 スイッチを押すと、
次の動作を機器が自動で行います。

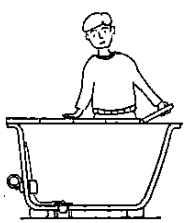


（運転前の準備）

1 排水栓を閉めます。
おふろを沸かす前に必ず排水栓を閉めます。

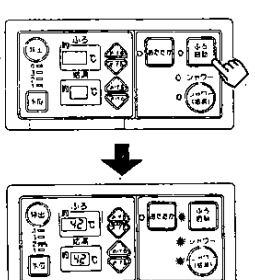


2 浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたまま
お湯はりができます。



（ふろ自動運転）

1 ふろ自動 スイッチを押します。



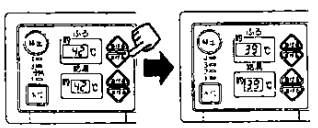
●「ふろ自動ランプ」と「シャワーランプ」が「赤色」に点灯し、「給湯燃焼ランプ」が「緑色」から「赤色」に替わり自動的にお湯はりが開始されます。

※別売部品の台所リモコンを同時にお使いの場合、「シャワーランプ」はそのままです。

電源投入時または停電復帰後に ふろ自動 スイッチを押すとふろ温度表示部には42℃が表示されます。また、自動お湯はり中は給湯温度表示部にはお湯はり温度を表示します。

※ ふろ自動 スイッチを押してから約4時間以内であれば
自動で追いだきします。

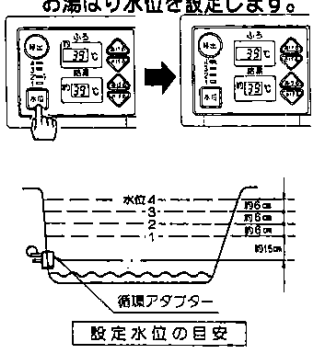
2 スイッチでお好みの入浴温度に設定します。



● お好みの温度が42℃と異なる場合は、ふろの スイッチで調節します。
この時、給湯の温度表示も同時に替わります。

● お湯はり温度は、目安ですが37から50℃の範囲で1℃ずつ設定できます。

3 水位 スイッチで浴そう内のお湯はり水位を設定します。



設定水位の目安

● 電源投入時または停電復帰後は、水位2となっていますが、希望の水位を1から4の4段階まで選べます。

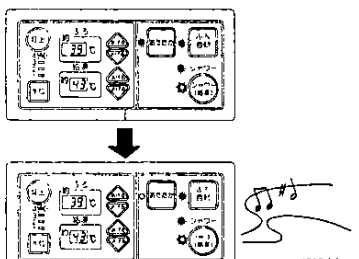
● 水位の目安は、循環アダプターの中心から上方約15cmから約6cmきざみの4段階となっています。

● しばらくして、浴そうの循環アダプターからお湯が出てきます。同時に、浴室リモコンの「給湯燃焼ランプ」が「赤色」に替わります。

※左図の設定水位を示す数値はおよその目安です。

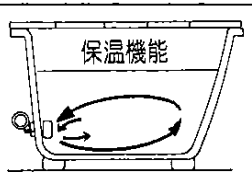
● おふろの設定水位までお湯はりしますと自動的に循環アダプターから出ていたお湯が止まり、その後おふろのお湯を循環し、ふろ自動設定温度まで沸かし上げます。

おふろが沸き上がりますと、自動でストップし、リモコンからメロディでお知らせします。



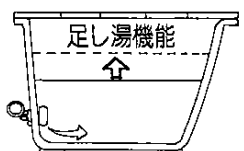
- 沸き上げ運転に入りますと、「あたたかランプ」が「赤色」に替わります。この時、給湯温度は、お湯はり温度からシャワー温度（別売部品の台所リモコンを同時にお使いの場合は、シャワーまたは給湯温度）にもどります。
- 設定した水位までのお湯はりと沸き上げが終了しますと、リモコンから約25秒間メロディが流れてお知らせします。
- 同時に自動保温、足し湯状態となります。
  このとき「給湯燃焼ランプ」は「赤色」から「緑色」に替わり、「あたたかランプ」は消灯します。
  「シャワーランプ」と「ふろ自動ランプ」は「赤色」のままです。

お湯の温度が下がったら、自動であたためます。（保温機能）



- 保温中は約20分毎にポンプがまわり、湯温を検知して温度が下がっていると自動的に設定した温度まであたためます。
  このとき、「あたたかランプ」は「緑色」から「赤色」に替わります。
- 保温中にふろ自動の設定温度を替えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そう湯温より低目に設定を替えても、浴そう湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがありますが異常ではありません。
- 保温機能は、ふろ自動 スイッチを押してから約4時間作動します。

お湯が減れば自動で足し湯します。（足し湯機能）



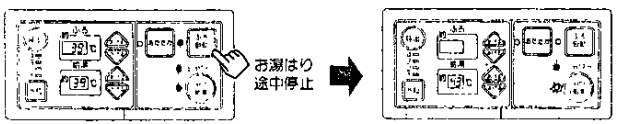
- お湯の量が減ると（自動お湯はりが終了したときの水位から約3cm下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯を足し湯します。
  この時「給湯燃焼ランプ」は「緑色」から「赤色」に替わります。この時、シャワーまたは給湯温度は、お湯はり温度が表示されますが、足し湯終了時は元の温度にもどります。
- 自動足し湯機能はふろ自動スイッチを押してから約4時間作動します。

※約4時間経過後、「ふろ自動ランプ」「あたたかランプ」、「水位ランプ」及びふろ温度表示が消えます。

（ふろ自動運転停止、保温運転停止）

1 ふろ自動運転を途中で止めたいときは、再度 ふろ自動 スイッチを押します。

- 「ふろ自動ランプ」が消えます。
- 「水位ランプ」と ふろ温度表示が消えます。
- 「給湯燃焼ランプ」が「緑色」になります。
- シャワー（給湯）温度表示がシャワーまたは給湯使用時の温度にもどります。



2 保温を途中で止めたいときも、再度 ふろ自動 スイッチを押します。

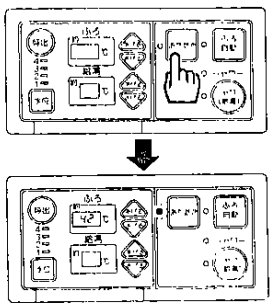
- 「ふろ自動ランプ」、「水位ランプ」及びふろ温度表示が消えます。

※保温運転は、ふろ自動運転中のみに作動し、あたたか運転だけで沸き上げる場合ははたらきません。

⚠ （ふろ自動運転の場合）

- 浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約1時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。
- ふろ自動スイッチを押して自動お湯はりを開始すると、給湯温度は設定のふろ温度と同じ温度に替わります。また、足し湯運転中もふろ温度と同じ温度に替わります。
  - ふろ自動運転中にあたたかスイッチを押すと、ふろ追いだき運転に替わります。
    追いだき運転終了後は、ふろ自動運転にはもどりません。
- 自動お湯はり中の給湯使用について
  - 自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの温度と同じ温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。
  - 配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。
  - 給水圧力が低い場合、排水ホースからお湯が少し出ることがありますが異常ではありません。（26ページ参照）
- 自動お湯はりの停止水位について
  - 自動お湯はりが停止する水位は、循環アダプター中心から上方へ約15cmから約6cmきざみの4段階で調整します。（15ページ参照）
- 浴そうに設定水位4以上の量の湯が残っている場合は、自動お湯はり運転はできません。
  - 水位4レベルより多くのお湯を落し込みたい場合は、給湯栓から足し湯してください。
- 次のような場合は異常ではありません。
  - 循環アダプターから「ボコボコ」と気泡が出る。（26ページ参照）
  - 自動運転開始または、終了直後、本体排水ホースより少量のお湯が出る。（26ページ参照）

1 あたたか スイッチを押します。



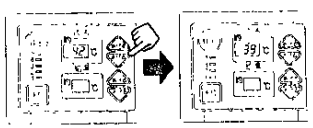
●「あたたかランプ」が「緑色」に点灯し、浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。同時に、「ふろ追いだき温度表示」が点灯します。

●しばらくして「あたたかランプ」が「緑色」から「赤色」に替わり、ふろの追いだきを始めます。

⚠

●あたたか運転をする前に循環アダプターキャップが十分つかる程度のお湯（または水）をはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとあたたか運転はできません。

2 スイッチでお好みのふろの追いだき温度を設定します。



●お買い上げいただいた時は、42℃に設定してあります。お好みの温度が42℃と異なる場合は スイッチで調整します。

●ふろの追いだき温度は、約37から50℃の範囲で1℃ずつ設定できます。また、ふろ自動運転による沸き上げ温度と違う温度に記憶できます。
※途中で追いだきを止めたいときは、再度「あたたか」スイッチを押します。

沸き上がりますと、自動でストップ。

●「あたたかランプ」、「ふろの追いだき温度表示」が消灯し、約30秒後にお湯の循環が止まります。

⚠ （ふろの追いだき・沸かし直しの場合）

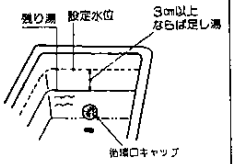
●ふろの追いだき温度表示の温度と実際の沸き上がり温度は、配管長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

●おふろ沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からおふろ沸かしをする場合は、「ふろ自動運転」をおすすめします。

（つづき）

●ふろ自動運転の保温が終了しているとき（「ふろ自動ランプ」が消灯しているとき）には、「ふろ自動」スイッチを押して沸かし直しをすることができます。
この場合、残り湯の量が設定している水位より少ない場合（設定水位より約3cm以上下がった水位）は、設定水位まで足し湯したうえで、設定温度に沸き上げます。

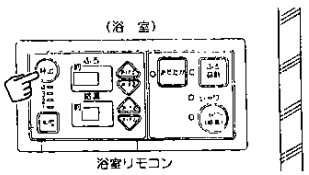
●お買い求めになってはじめてあたたか運転をする場合は、ふろ配管内に水がないため、運転前に一度ふろ自動運転を約30秒間行ない、（「ふろ自動」スイッチ「入」、「切」）その後あたたか運転を行なってください。



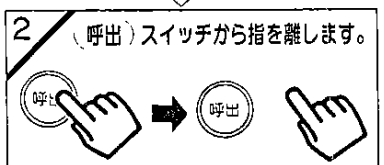
呼出スイッチの使いかた

※呼出スイッチは、別売部品の台所リモコンを台所等で使用する場合、浴室からの呼び出しに使用します。

1 浴室リモコンの 呼出 スイッチを押します。



2 （呼出）スイッチから指を離します。

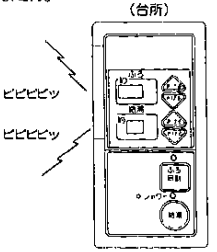


●別売部品の台所リモコンから呼出音が鳴り、家族にお知らせします。

●「呼出」スイッチを押している間、呼出音が流れます。

●浴室リモコンからも呼出音は鳴りますが、故障ではありません。

（台所）



●各リモコンからの呼出音が止まります。

※浴室リモコン単独で使用する場合も、呼出スイッチを押すと呼出音は鳴りますが異常ではありません。

凍結予防方法

※機器が凍結すると、水漏れや故障の原因になることがあります。

必ず行う　冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

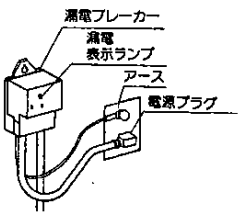
凍結予防ヒーターによる方法

1　電源プラグをコンセントに入れた状態にします。

●この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。
通常は、漏電ブレーカーの電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。

●凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

●電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると作動しませんのでご注意してください。
●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性がありますのでリセットボタンを押して確認してください。
リセットボタンを押しても点灯しているときは、漏電していることを示しているので危険です。
電源プラグを抜きお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社までご連絡ください。
（23ページ参照）



●ヒーターは、機器内の保温をします。配管やバルブ類の凍結予防はできませんので、配管には保温材を巻いて凍結予防をしてください。

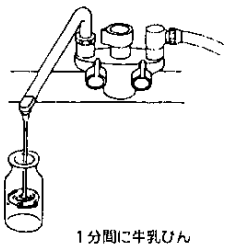
通水による方法（異常寒波や停電などのとき）および、ポンプの水抜き方法

◆通水による方法

1　リモコン（シャワー（給湯））スイッチを「切」にします。
●「給湯燃焼ランプ」が消灯します。

2　ガス栓を閉めます。

3　おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込みます。
●流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認します。
●浴そうに流し込んだ水は翌日の雑用水としてご利用ください。



1分間に牛乳びん
2本分（400cc）以上
※給水栓は閉めておいてください。

◆ポンプの水抜き方法

1　●リモコンの「あたたか」スイッチを押し、「252」エラーコードが表示されるまでスイッチを「入」、「切」します。
●このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。
●「252」エラーコードは、もう一度「あたたか」スイッチを押すと解除できます。

〔異常寒波時〕
●この機器は外気温が−15℃以下になる場合には凍結防止のために水抜き処置が必要です。

〔凍結したときは〕
●凍結により、給湯栓・シャワー栓・ふろ循環口から水が出ないときは、使用しないでください。
●凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
●再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
●凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）
●万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてからお買い求めの販売店もしくは、もよりの大阪ガス支社までご連絡ください。

点検・お手入れ

※機器を安全に、快適にお使いいただくために…

⚠

- 手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。
  ★機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますのでやけどする恐れがあります。
- 機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。★故障の原因になります。

点検のポイント

- 機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。
- 給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
- 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ガスのにおいはしませんか。
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。

お手入れのしかた

- 機器本体のお手入れは特に必要ありませんので、絶対に分解しないでください。

- 機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくておそうじされるときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとったあと、からぶきします。

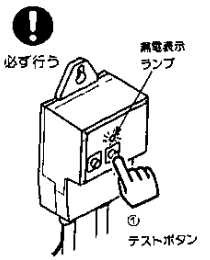
⚠

- ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。★傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。★前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。
- リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。★リモコンの故障の原因になります。
- 循環アダプターのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。★変色、変形の恐れがあります。

■ 漏電ブレーカーの点検

- 漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行なってください。

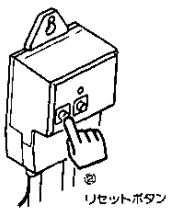
① テストボタンを押します→漏電表示ランプが点灯します。
② リセットボタンを押します→漏電表示ランプが消灯します。



- 月に1回以上の作動確認を行なってください。

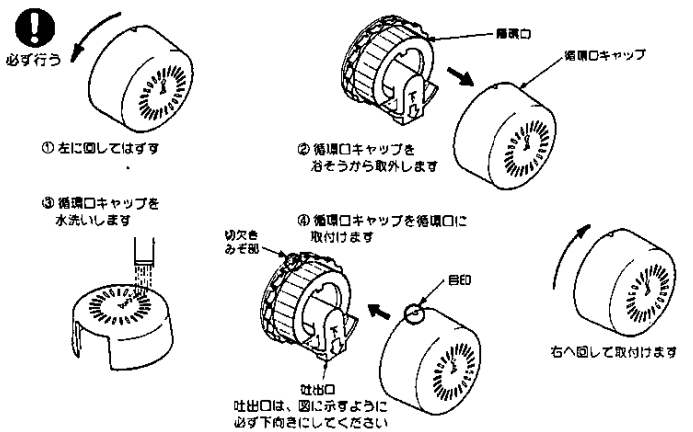
※正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

※点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら漏電していることを示しているので危険です。電源プラグを抜き、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。



■ 循環アダプターのお手入れ

- 循環アダプターの汚れや詰まりのお掃除は、循環口キャップをはずして水道水で洗います。
- 循環口キャップの取り付けは、上マークが上になるようにし、キャップの目印の裏にあるツメが循環口のほぼ真上にあたる切欠き部のみぞに合うように差し込み、右へ少し回して止めます。



故障かな？と思ったら

※次のことを調べてみてください。

現　象	お調べいただきたいこと	参照ページ
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。	23ページ
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水でありませんか。 ●リモコンの〔シャワー(給湯)〕スイッチを押しましたか。	9ページ
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度表示が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●水量が多すぎませんか。(冬)	10ページ 9ページ 11ページ
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度表示が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏)	10ページ 12ページ
ふろ追いだきができない	●浴そうの水(湯)が、循環口キャップより上にありますか。	18ページ
ふろがすぐ消火してしまう	●ふろ追いだき温度表示が低くなっていませんか。 ●循環口キャップがはずれていませんか。 ●循環口キャップの向きは、正しいですか。	18ページ 23ページ
浴そうの上下の温度差が大きい	●循環口キャップの位置は正しいですか。 ●循環口キャップが目詰りしてませんか。	23ページ

※リモコン表示ランプが点滅しているときは

●この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンのふろ追いだき温度表示部にエラーコードを点滅表示します。(25ページの表で確認してください。)

●エラーコードの点滅解除は、次のようにします。

1. 給湯・シャワーを使用中のときは〔シャワー(給湯)〕スイッチ、あるいは、〔給湯〕スイッチを押します。
2. ふろ自動を使用のときは〔ふろ自動〕スイッチを押します。
3. あたたか運転を使用中のときは〔あたたか〕スイッチを押します。

表　示	故障と思われる範囲または原因	処　置
111 121 112 122	給湯不着火 給湯使用時、途中消火(失火) ふろ不着火 ふろ使用時、途中消火(失火)	ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
140 140 511 512	残火安全装置作動 過熱防止装置作動 給湯フレームロッド異常検知 ふろフレームロッド異常検知	安全装置の作動または故障が考えられます。 エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
252	ふろ循環系統の故障または異常検知	浴そうの循環口キャップが充分につかるまで水（湯）がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
311 322 432 721 722	給湯サーミスタ系統の故障または異常検知 ふろサーミスタ系統の故障または異常検知 水位センサ系統の故障または異常検知 給湯フレームロッド疑似炎検知 ふろフレームロッド疑似炎検知	センサ関連の故障または機器の過熱による沸騰等が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
611	ファン系統の故障または異常検知	送風ファン関連の故障またはセンサによる異常検知が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。

●機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（〔700〕,〔710〕,〔750〕）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お求めの販売店か、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●エラーコード〔000〕表示は、初期表示（エラー発生なし）です。しばらく、そのままお使いください。

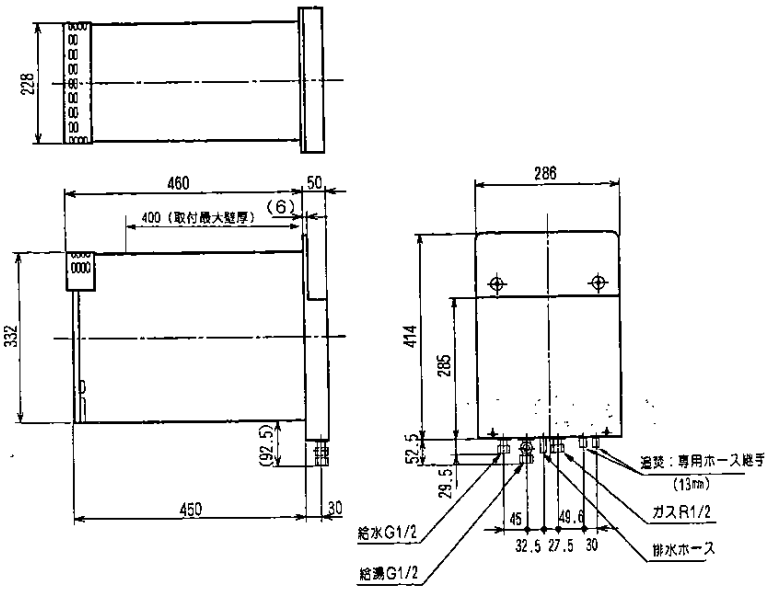
●使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、23ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

次のような場合は、故障ではありません

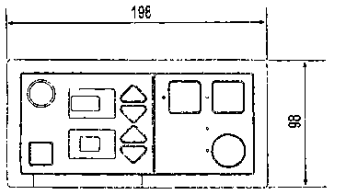
状　況	理　由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする	消火後７分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
あたたかランプが消灯してもしばらく音がする	消火後30秒間はポンプを回転させて余熱を回収しています。
排気口から寒い日に白い湯気がでる	排気の中の水蒸気が寒さで白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふろ自動お湯はりまたはふろ追いだきを始めると循環アダプターからボコボコ音がして泡が出る	ふろ追いだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
ふろ自動お湯はりの開始直後及び、終了直後に排水口から少量のお湯が出る。	機器内蔵の大気開放弁の逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へもどらない構造）により使い始めと使い終りに少量のお湯が出ますが異常ではありません。
ふろ自動お湯はりと給湯・シャワーの同時使用時に排水ホースから少量のお湯が出る。	給水圧が低い場所で同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなってしまうため、機器内蔵の大気開放弁の逆止弁構造により少しだけ機外へもお湯を排水しますが異常ではありません。
おふろ場やそれ以外の場所で水栓を急に閉じた場合、排水ホースから少量の水が出る。	機器内蔵の大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回ふろ自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。

寸法図

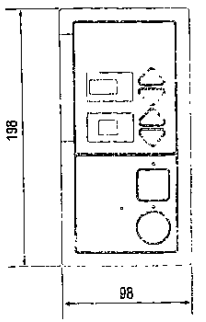
■ 本　体



■ リモコン



浴室リモコン(奥行22)



台所リモコン（奥行22）
36－795型

仕　様

■ 仕様表

項目		仕様
外形寸法(本体)		幅286×高さ467×奥行510mm
壁貫通部寸法		幅228×高さ332×奥行460mm
重量(本体)		25kg
接続寸法	ガス	R1/2（TU接続）
	給水・給湯	G1/2
	ふろ循環	13mm循環ホース継手
標準ガス消費量 kW (kcal/h)	ガス質	13A
	給湯 最大	18.0（15,500）
	給湯 最小	5.8（5,000）
	ふろ	9.9（8,500）
	同時(最大)	25.0（21,500）
電気定格	電源	AC100V（50/60Hz）
	消費電力	使用時最大 130/140W
	凍結予防用ヒータ	64W
最低作動水圧		19.6kPa（0.2kgf/cm²）
使用水圧		53.9（動水圧）～784kPa（0.55～8kgf/cm²）
制御システム	給湯	フィードバック式ガス比例制御
	ふろ	温度設定沸上げ(37～60℃)、(給湯比例制御追従式)
	ファン制御	DCファンによる回転数制御
排気温度		260℃以下
安全装置		・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知 ・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁 ・残火安全装置　・凍結予防用ヒータ
付属部品		・電源コード(漏電ブレーカー付)　・循環アダプター（水位センサ付） ・水位センサ中継コード　・循環ホース(締付バンド付) ・浴室リモコン　・浴室リモコン取付金具（カールプラグ、ネジ付） ・取扱説明書　・本体取付金具（カールプラグ、ネジ付） ・設置工事説明書　・電線保護管 ・保証書

■ 出湯能力

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（ℓ/分）				
			水温+15℃	水温+25℃	水温+30℃	水温+40℃	水温+50℃
13A	能力大	8.2	＊13.7	＊8.2	6.8	5.1	4.1
	能力小	2.5	4.1	2.5	－	－	－

＊印は換算相当出湯能力を示す。

保管とアフターサービス

● 長期間使用しない場合

・長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1. ガスの元栓を閉じる。
2. 給水元栓を閉じる。
3. 電源プラグをコンセントから抜く。

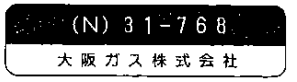
● アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」（24～26ページ）の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

・ご連絡の際には 次のことをお知らせください。

1. 品　名……バックイン
2. 大阪ガス商品コード……器具の前面右上部に貼付してあります。

例



3. 故障・異常の現象 ……できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

● 転居される場合

・ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

● 保証・補修について

・保証期間中は……
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

・保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後7年間です。